

会社名・組織名：	株式会社エイ・〇〇・〇〇	登記名を記載 してください	受付番号	記入不要
----------	--------------	------------------	------	------

I. IT 経営実践の成果について

1. 貴社のビジネスの特徴や強み、あるいは同業他社と比べて優れている点を記載してください。

店舗ごとの商圈において、地域に浸透した企業として、地域に根ざした顧客サービスの構築を目指し、それを実現するため、自社の目標を全社員で共有し、社員のスキルアップに重点化し競争力を維持している。

IT 経営によって実現された特徴などを記載してください。同業他社と比べて優れている点や、他社にない固有のビジネスモデルがあれば、その点についても記載してください。

業界別に想定される記載例を以下に示しますので、参考にしてください。

○品質、コスト、納期に対する顧客要求が厳しくなる中で、蓄積された技術ノウハウデータベースを活用し、特殊加工技術の市場においては、多くの信頼を得ている。（製造業の例）

○顧客データベースを最大限に活用し、顧客のニーズを先取りしながら、きめ細かい納品対応や、提案販売で、お客様の立場に立った事業を展開している。（小売流通業の例）

○挨拶状に特化した印刷サービスを、インターネットを通じて行っているが、文面の印刷だけではなく、発送など付随する作業にも対応するなど、顧客の細かなニーズに対応できることが強みである。（ネット販売の例）

成果算定の目安となる時期を開始時期として、記入してください。  
平成 18 年と書いた場合は、平成 18 年当時と現時点を比較して、その違いを成果として、以降の欄に記載してください。IV. 経営環境や経営課題は、この開始時期（過去）のことを記載してください。

2. 成果を算出する起点とした IT 経営の取組開始時期はいつごろですか。

平成 18 年ごろ

3. IT 経営を実践した成果について、該当する項目すべてに○印を記入してください。

(○) ①売上増大	( ) ②原材料、外注、商品仕入等の変動費削減
(○) ③人件費、賃借料等の固定費削減	( ) ④新規事業、新しいビジネスモデルの創出
( ) ⑤市場開拓・販路拡大	( ) ⑥他社との協業等による事業拡大
( ) ⑦商品・サービスの付加価値の向上	(○) ⑧知名度、ブランド力向上
(○) ⑨顧客満足度向上	( ) ⑩品質改善
( ) ⑪リードタイム短縮（期間短縮）	( ) ⑫人材の確保や正しい評価等
(○) ⑬技能の継承や技術者の育成	(○) ⑭社員の意識向上
(○) ⑮社内（社員間）の情報共有	( ) ⑯社外との情報交換
( ) ⑰コンプライアンスや内部統制の厳格化	(○) ⑱経営管理の効率化
( ) ⑲迅速な対応	( ) ⑳その他（

IT 経営を実践して、成果があったと考えられる項目すべてに○印を記入してください。

4. 上記3. で選択した成果のうち、主要な項目を最大3項目選んでください。

①⑨⑱

5. 上記4. で選択した主要な項目について、それぞれの成果内容を、取組開始時を明確にして、開始時点と現時点との違いが、定量的に分かるように記載してください。

（定量的成果の内容）平成18年と平成21年の比較

- ・売上高は倍増した。200百万円 ⇒ 400百万円
- ・社員のスキルアップによる顧客満足度の向上により、各店舗の再来店客が65%から75%に向上した。
- ・店舗数も11店から15店に増加した。
- ・各店舗の売上情報や稼働情報などが共有されたことで効率化が進み、人件費が10%削減できた。

6. 上記5. と同様、開始時点と現時点を比較した定性的な成果を、具体的に記載してください。

（定性的成果の内容）平成18年と平成21年の比較

- ・社員のスキルアップにより、顧客満足度が向上した。（再来店率の向上につながった）
- ・知名度向上やブランド力強化ができたことにより、店舗数の増加に寄与した。
- ・各店舗の売上情報や稼働情報の見える化や、情報共有により、社員の連携力が高まった。
- ・社員の定着率が向上の傾向にある。

主要な成果項目それぞれの成果内容を具体的に記載してください。  
項目IV. に示す問題や経営課題が、どのように改善されたかが分かるように、関連付けて記載してください。

1

注）応募用紙は記載スペースを広げても構いませんが、上記項目 I ～ IV を、最大 4 頁以内としてください。

【注意事項】

応募用紙は外部秘扱いとして管理し、このまま公表することはありません。公表する際は、改めて掲載原稿のご了解をいただきます。

Ⅱ. 成果を実現するための方策

1. IT 経営実践の対象となった業務プロセスについて、該当する項目すべてに○印を記入してください。

- (○)①企画プロセス ( )②広報プロセス ( )③開発・設計プロセス  
( )④購買・調達プロセス ( )⑤生産・製造プロセス ( )⑥物流・在庫管理プロセス  
(○)⑦営業・販売プロセス ( )⑧請求・支払・会計処理プロセス (○)⑨総務・人事プロセス  
( )⑩その他( )

IT 経営実践の対象となった業務プロセスすべてに○印を記入してください。

2. 成果(目標)を実現するために活用した方策について、該当する項目すべてに○印を記入してください。

- ( )①業務用アプリケーション・パッケージの活用 (○)②SaaS/ASP サービスの活用  
( )③ERP 等統合型業務用アプリケーションの活用 (○)④自社専用業務システムの開発・活用  
(○)⑤財務や会計等による意思決定支援など管理系システムの活用  
(○)⑥データベースや情報分析ツールの活用 ( )⑦メールやグループウェアなどの活用  
(○)⑧ホームページや web サイトの活用 ( )⑨社外との連携(EDI 等)のシステム活用  
( )⑩携帯等モバイルツールの活用 ( )⑪IC タグなどの新技術の活用  
( )⑫IT ベンダサービスの活用 ( )⑬社員個々の表計算ソフト使用等の IT リテラシー向上  
( )⑭その他( )

項目Ⅰ. の成果を実現するために活用した方策に該当する項目すべてに○印を記入してください。

略字の意味は以下の通りです。

SaaS(サース)/ASP(エイエスピー): ネットワークを通じて、アプリケーションなどを提供・利用するサービス。利用者は、自社内のパソコン等にアプリケーションをインストールする必要がない。

ERP(イーアールピー): 生産や販売、在庫、購買、物流、会計などの経営情報を組織横断的に有効活用するためのパッケージソフト。

該当例を以下に示しますので参考にしてください。

・「ネットショップへの出店」「SNS(ソーシャル・ネットワーキング・サービス)」は、「⑧ホームページや web サイトの活用」に該当。

・「ブログの活用」は、「⑦メールやグループウェアなどの活用」に該当。

3. 上記2. で選択した方策のうち、成果(目標)実現と関連の強かった項目(最大3項目)について、それぞれ具体的な活用内容を記載してください。(IT 活用以外に取り組んだ方策も記載してください。)

主要項目: ②④⑤

(具体的内容)

上記2. で○印を記入した項目の内、3項目までを記載してください。

- ・各店舗の業績推移把握と問題解決のスピード化を図るため、データセンタのコンピュータと各店舗の POS レジをインターネット回線で直接つなぎ、データを送信して一括集計・分析できるようにした。それにより、関係者へのフィードバックが月次から日次に短縮され、情報提供の効率化とスピードアップが実現できた。
- ・継続した業務改善や業務効率向上を図るため、店舗の売上だけでなく、社員一人一人の生産性などを算出し、グラフにして見える化し、状況を共有することで、全員で問題改善に取り組む意識を高めている。
- ・リピータの増加を図るため、定期的にお客様のアンケート調査を行い、集計分析結果と POS レジデータを組み合わせ、店舗ごとの品揃えやサービスメニューに反映させるとともに、絶えず見直しを行っている。

主要項目の番号を記載し、その内容について、何のために、何を、どのように活用したか、具体的に記載してください。特に、項目Ⅰ. で取り上げた成果や、項目Ⅳ. の経営課題との関連が分かるように記載してください。

4. 上記2. で選択した方策において、IT ベンダまたは市販のアプリケーション等を利用した場合は、その企業名と委託業務、利用したサービス又は商品名を記載してください。

IT ベンダ(企業名)	委託業務・サービス内容又は商品名(パッケージソフト名)
(株)XYZOO	自社専用システムの開発を委託
(株)SSSOO	SaaSサービス「〇〇情報分析くん」を利用

利用した IT ベンダ名(IT 開発・販売企業)と、利用内容を記載してください

【注意事項】

応募用紙は外部秘扱いとして管理し、このまま公表することはありません。公表する際は、改めて掲載原稿のご了解をいただきます。

1. IT経営を進める上で、経営者はどのように関わり、どのような役割を担いましたか。

経営者は、これまでの業界の慣習を見直し、事業のあり方を考え、それを実現するための IT 活用を進めてきた。特にマネジメント面に重点を置き、想定される問題点を解決する仮説の設定と検証のプロセスに IT を活用し、データの見える化を行うことで、常にデータ等に基づき、全従業員で取り組む IT 経営を実践している。

経営者の基本方針や全社への展開の仕方、あるいは開始・立ち上げの段階、導入途中、活用継続などどの時期にどんな関わりをしたかについて、記載してください。

2. IT 経営の推進に大きく貢献した社内人材(キーマン)は、どのような役職で、どのような役割を担いましたか。

IT 活用の推進担当者は、経営企画部長として経営計画策定と IT 活用全般の責任を担っている。経営者の IT 経営の実践を支援し、特にデータの集計分析や見える化においては、トップの意向や業務の現場のニーズを拾い上げながら、的確な情報提供を行っている。さらに、関係業務部門での業務改革のアドバイスや IT 化ニーズの掘り起こしに尽力した。

キーマンの業務上の役割や、IT 経営推進における役割を記載してください。経営者とのような連携をしたか、全社に展開する際にどのような関わりを持ったか、あるいは開始・立ち上げの段階、導入途中、活用継続などどの時期にどんな関わりをしたかについて、記載してください。

3. IT 経営を実践する際に利用した外部人材等について、該当する項目すべてに○印を記入してください。

- (○)①IT コーディネータ ( )②中小企業診断士 (○)③IT ベンダ  
( )④行政機関 ( )⑤中小企業支援機関(商工団体等) ( )⑥その他の外部人材

該当する項目すべてに○印を記入してください。

4. IT 経営を実践する際に利用した支援施策等について、該当する項目すべてに○印を記入してください。

<国・自治体等公的機関の支援施策>

- (○)①IT 経営応援隊(商工団体等を含む)のIT経営研修・セミナー  
( )②公的機関の窓口相談 (○)③専門家派遣  
( )④ITベンダとのマッチング交流会 ( )⑤公的機関Webサイト(IT経営ポータルのHP等)  
( )⑥政府系金融機関の低利融資 ( )⑦税制(中小企業等情報基盤強化税制等)  
( )⑧全国ITベンダ情報データベース ( )⑨地方自治体の IT 化支援(具体名称: )  
( )⑩その他( )

<民間機関等の活用>

- (○)⑪民間企業主催のIT研修 (○)⑫民間コンサルタントに対する相談  
( )⑬民間金融機関の融資 ( )⑭その他( )  
( )⑮特にどちらの施策も利用しなかった(自己資金、社内人材等で対応)

該当する項目すべてに○印を記入してください。

5. 上記3. 及び4. で選択した外部人材または支援施策等のうち、IT 経営の推進に最も貢献した項目を1つ選び、その貢献内容について記載してください。

最も貢献のあった外部人材:① 最も貢献のあった支援施策:

(貢献の内容)

IT コーディネータには、平成18年8月に IT 経営応援隊の研修で相談した際に、適切なアドバイスをもらい、その後も継続的にバックアップしてもらっている。経営トップや社内で気がつかない視点からの問題指摘やヒントをもらえることにより、当社の弱みをカバーしてもらっている。専門家派遣制度を利用できたこともあり、安心してお願いできた。

選んだ項目の番号を記載し、その内容を具体的に記載してください。

6. IT 経営を推進した成果が実現(実感)できた背景やその要因について、該当する項目すべてに○印を記入してください。

- (○)①経営者の問題意識や強い思い ( )②経営課題や目的・目標の明確化  
( )③推進キーマンの主体的・広範囲な活動 ( )④事業や業務プロセスの整備を伴う推進  
( )⑤スピードや期日を意識した計画的な推進 (○)⑥経営者と社員との一体化した推進  
( )⑦IT経営推進過程でのリスク評価と対応の的確さ (○)⑧人材の育成や評価とリンクした推進  
(○)⑨社外専門家を有効に活用できた ( )⑩支援制度を有効に活用できた  
( )⑪その他( )

該当する項目すべてに○印を記入してください。

【注意事項】

応募用紙は外部秘扱いとして管理し、このまま公表することはありません。公表する際は、改めて掲載原稿のご了解いただきます。

7. 上記6. で選択した要因のうち、最も影響の大きかった項目1つについて、具体的に記載してください。

最も影響の大きかった項目：⑥

（具体的内容）

経営者は、当社のあるべき理想像について従業員に伝えており、従業員全員が、それに賛同して一体化できていることが、何よりの成功要因である。

同時に、専門家派遣制度を利用して IT コーディネータに指導を受け、社内ではどうしても越えられなかった壁を越えることができた。支援団体から継続的にバックアップをもらったことも成功要因と考える。

選んだ項目の番号を記載し、その内容を具体的に記載してください。

1. IT経営に取り組んだ時点での市場、顧客や競合の動向など経営環境の状況について、該当する項目すべてに○印を記入してください。《企業を取り巻く状況》

- |                                     |  |   |
|-------------------------------------|--|---|
| <input type="checkbox"/> ①需要の増加     | <input type="checkbox"/> ②需要の低迷・縮小       | <input type="checkbox"/> ③輸入品・外資を含む市場競争激化 |
| <input type="checkbox"/> ④短納期の要請    | <input type="checkbox"/> ⑤低価格化の要請        | <input type="checkbox"/> ⑥高品質の要請          |
| <input type="checkbox"/> ⑦取引条件変更の要請 | <input type="checkbox"/> ⑧原材料価格、仕入原価等の上昇 | <input type="checkbox"/> ⑨顧客嗜好の変化・多様化     |
| <input type="checkbox"/> ⑩グローバル化の進展 | <input type="checkbox"/> ⑪業界の技術変化        | <input type="checkbox"/> ⑫法制度等の変更         |
| <input type="checkbox"/> ⑬その他（      |  |   |

IT 経営に取り組んだ時点（過去）での、貴社を取り巻く状況として該当すると思われる項目すべてに○印を記入してください。

2. 上記1. で選択した状況のうち、特に重要視した項目（最大3項目）について、具体的に記載してください。

特に重要視した項目：②③⑨

（具体的内容）

景気後退や世界的な金融危機の影響、その後の東日本大震災の影響に至るまで、需要の減少傾向が続いていた。また、低価格でサービスを提供する同業他社の進出で、価格競争を主とする競争が激化していた。併せて、顧客の嗜好も変化・多様化し、従来のやり方では、顧客要求に対応しきれないという傾向が明確になっていた。

特に重要視した項目の番号を記載し、取引先からの要請やお客様や市場の動向などの社外の状況について、それぞれの内容を具体的に記載してください。

3. IT経営に取り組んだ時点での社内で解決すべき問題や取り組むべき課題としたことについて、該当する項目すべてに○印を記入してください。《企業内の状況》

- |                                     |                                   |  |
|-------------------------------------|-----------------------------------|--|
| <input type="checkbox"/> ①利益・財務体質   | <input type="checkbox"/> ②売上高     | <input type="checkbox"/> ③固定費          |
| <input type="checkbox"/> ④強い製品・サービス | <input type="checkbox"/> ⑤新規顧客の獲得 | <input type="checkbox"/> ⑥品質問題         |
| <input type="checkbox"/> ⑦業務スピード    | <input type="checkbox"/> ⑧業務効率    | <input type="checkbox"/> ⑨人材育成と技術力・競争力 |
| <input type="checkbox"/> ⑩人材の高齢化・退職 | <input type="checkbox"/> ⑪従業員の意識  | <input type="checkbox"/> ⑫コミュニケーション    |
| <input type="checkbox"/> ⑬業務の見える化   | <input type="checkbox"/> ⑭リスク対応   | <input type="checkbox"/> ⑮企業統制         |
| <input type="checkbox"/> ⑯その他（      |                                   |  |

社内の問題や課題として該当すると思われる項目すべてに○印を記入してください。

4. 上記3. で選択した項目のうち、特に重要視した項目（最大3項目）について、具体的に記載してください。

特に重要視した項目：⑨⑪⑮

（具体的内容）

低価格競争などの同業他社との競争が激しくなる中で、顧客の維持や新規顧客の獲得という命題があり、そのためには事業の特性から、社員の顧客対応の仕方や、提供するサービススキルの向上が最大の課題であった。同時に、優秀な社員の定着など、働きやすい職場、働きがいのある会社にする必要を感じていた。そのためには、各店舗の業績の状況や、社員一人一人の状況を見える化し、問題発見や対策を早めていくための方策を、導入する必要性を強く感じていた。

特に重要視した項目の番号を記載し、IT 経営に取り組んだ時点（過去）で、貴社の社内で解決すべき問題や取り組むべき課題となっていたことを具体的に記載してください。

IV. 経営の環境や経営課題について

V 関連資料

1. IT 活用概念図

※業務フロー、システム概念図等、事業や業務と IT 活用の関係がわかる図を添付してください。（空白ページに貼り付けてください。）

2. 組織図

※組織図（概略図）があれば添付してください。（空白ページに貼り付けてください。）

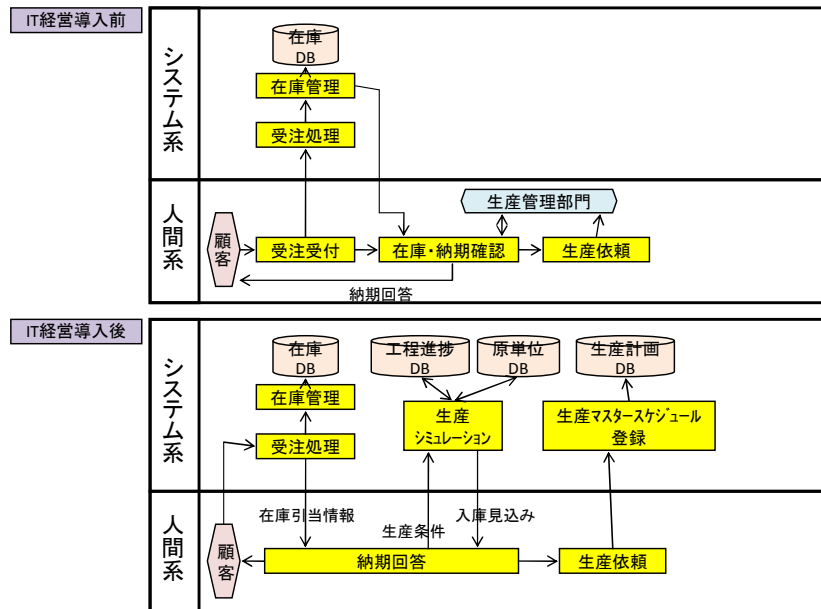
## V. 関連資料：IT 活用概念図 例

《ワークフローのサンプル》

業務フローとシステム化の関係について、IT 導入前と導入後での違いを表してください。

### ワークフローの作成サンプル

人手の業務とITによる業務の分担を表現することによりIT活用度の違いを分かり易く表現した事例

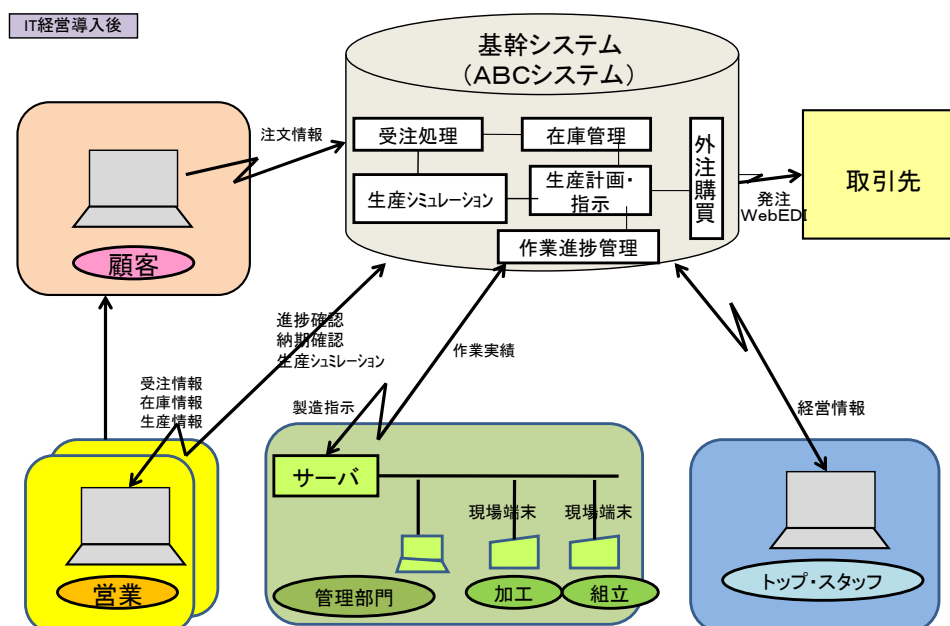


《システム概念図のサンプル事例》

システムの全体概要や特徴が一目でわかるように表示してください。

### システム概念図の作成サンプル

情報活用や部門間での情報連携など、情報中心にシステム全体の特長を表現した事例



## V. 関連資料：組織図 例

以下は、IT 経営推進体制を含む組織図の例を示す。

